

貧酸素水塊速報 (2022年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター
 神奈川県水産技術センター
 千葉県農林水産技術会議
 内湾底びき網研究会連合会

【協力】 千葉県環境研究センター
 第三管区海上保安本部
 ○ 東京都環境局
 (国) 国立環境研究所
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

令和4年8月17日観測結果

貧酸素水塊は、内湾北部から西部に分布していました(図1)。先週の台風により、縦断ラインでみた規模は15%に縮小しました(図2)。
 表層水温は25~28℃、底層水温は18~28℃でした。

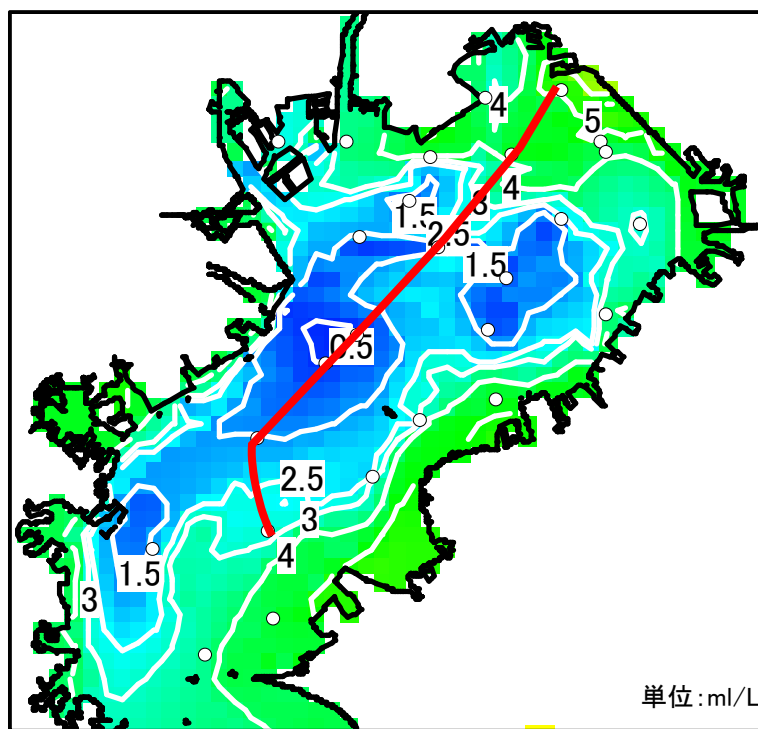


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

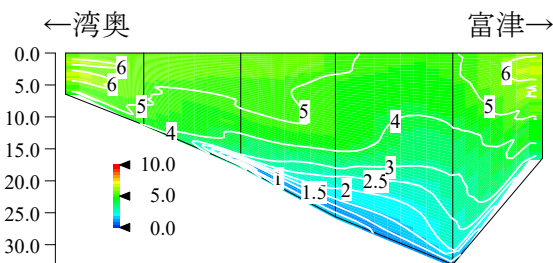


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

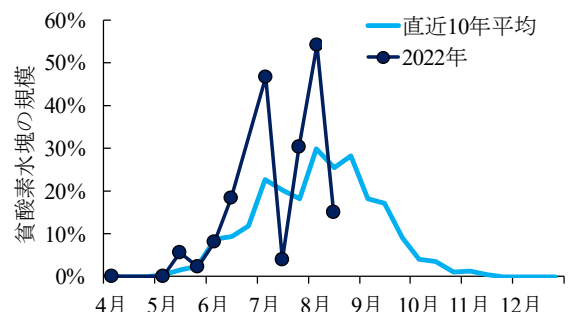


図3 貧酸素水塊の規模

(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)

| 酸素飽和度と溶存酸素量(DO)の目安 | | |
|--------------------|---------|-------|
| 酸素飽和度 | 溶存酸素量 | 備考 |
| 50% | 2.5mL/L | 貧酸素水塊 |
| 30~40% | 2.0mL/L | 魚類に影響 |
| | 1.5mL/L | 貝類危険 |
| | 1.0mL/L | |